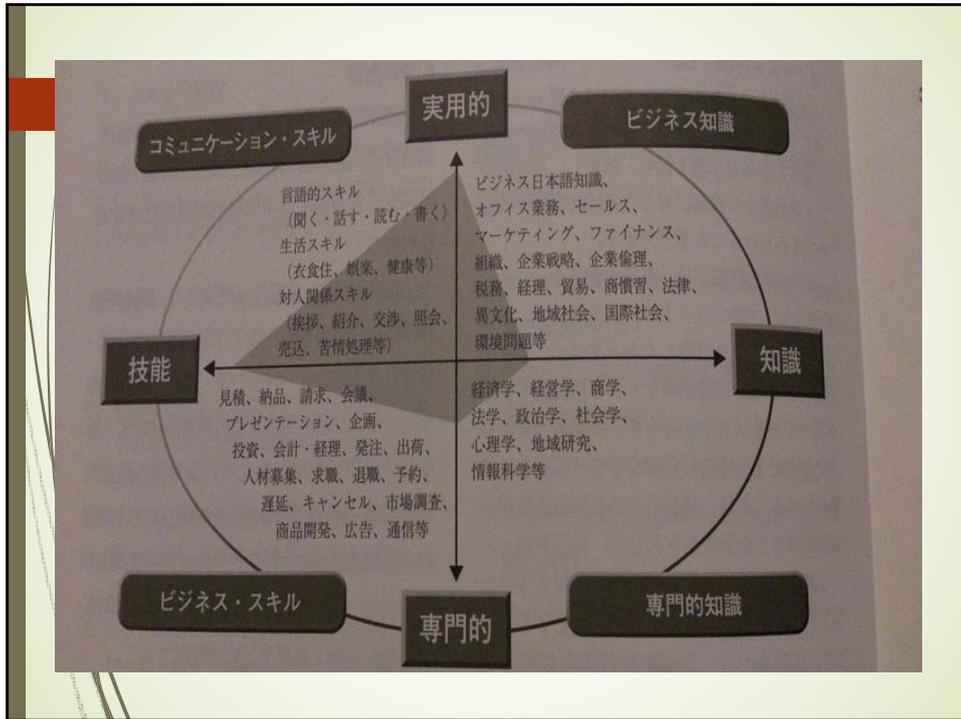


A content slide with a light green background. The title 'ビジネス日本語' (Business Japanese) is centered at the top in a large, black, sans-serif font. Below the title, there are four bullet points, each preceded by a red arrow pointing to the right. The bullet points are:

- なぜ、今ビジネス日本語か。
- 日本語能力検定試験（JLPT）は大学、大学院への進学が目的。
- 社会人としての日本語能力には欠ける。
- 企業が求める人材には、敬語が必要である。

On the left side, there are several thin, dark, vertical lines resembling reeds or grass. A solid red arrow points to the right, positioned in the middle of the left edge.



ビジネス日本語

- ▶ BJTビジネス日本語能力テスト (Business Japanese Proficiency Test、略：BJT) は、ビジネスの場における 日本語 のコミュニケーション能力を、客観的に測定・評価する試験の一つである。日本語を母語としないビジネス関係者や学生を主な対象者としている。日本漢字能力検定協会 の主催で実施されている。

出展：日本漢字能力検定協会



出展：日本漢字能力検定協会



出展：日本漢字能力検定協会

パート		セクション		形式		選択肢	問題数	時間
第1部	聴解テスト	1	場面把握問題	写真	音声	音声	5	約45分
		2	発言聴解問題	写真	音声	音声	10	
		3	総合聴解問題	イラスト	音声	音声	10	
第2部	聴読解テスト	1	状況把握問題	写真	音声	文字	5	約30分
		2	資料聴読解問題	視覚資料	音声	文字	10	
		3	総合聴読解問題	視覚資料	音声	文字	10	
第3部	読解テスト	1	語彙・文法問題	文字	文字	文字	10	30分
		2	表現読解問題	文字	文字	文字	10	
		3	総合読解問題	視覚資料	文字	文字	10	
合計							80	約105分

2008年7月より、在留資格認定証明書交付申請における審査の参考として採用。

- ▶ 400点以上であれば大学等の入学（日本語能力試験では2級）。
- ▶ 300点以上なら専門学校等の入学（日本語能力試験では4級）に相応する日本語能力を有するとみなされる。

出展：日本漢字能力検定協会

スコア	レベル	評価基準
800-600	J1+	<p>どのようなビジネス場面でも日本語による十分なコミュニケーション能力がある。日本語に関する正確な知識と運用能力がある。</p> <p>どのようなビジネス会話でも正確に理解できる。</p> <p>会議、商談、電話の応対などで相手の話すことが正確に理解できる。</p> <p>対人関係に応じた言語表現の使い分けが適切にできる。</p> <p>どのような社内文書やビジネス文書でも正確に理解できる。</p> <p>日本のビジネス慣習を十分理解している。</p>
599-530	J1	<p>幅広いビジネス場面で日本語による適切なコミュニケーション能力がある。</p> <p>日本語の知識・運用能力に問題が一部あるが、意志疎通に支障はない。</p> <p>幅広いビジネス会話が正確に理解できる。</p> <p>会議、商談、電話での応対などで相手の話すことがおおむね理解できる。</p> <p>対人関係に応じた言語表現の使い分けがある程度できる。</p> <p>日常的な社内文書やビジネス文書が正確に理解できる。</p> <p>日本のビジネス慣習をおおむね理解している。</p>
529-420	J2	<p>限られたビジネス場面で日本語による適切なコミュニケーション能力がある。</p> <p>日本語の知識・運用能力に問題が一部あり、意志疎通を妨げることがある。</p> <p>日常のビジネス会話がおおむね理解できる。</p> <p>会議、商談、電話での応対など相手の話すことがある程度理解できる。</p> <p>対人関係に応じた言語表現の使い分けが少しできる。</p> <p>日常的な社内文書やビジネス文書がおおむね理解できる。</p> <p>日本のビジネス慣習に対する理解がある程度ある。</p>

出展：日本漢字能力検定協会

スコア	レベル	評価基準
419-320	J3	限られたビジネス場面で日本語によるある程度のコミュニケーションの能力がある。 日本語の知識・運用能力に問題があり、意志疎通を妨げることが多い。 日常のビジネス会話の簡単なものがおおむね理解できる。 会議、商談、電話での応対などで相手の話すことが少し理解できる。 対人関係に応じた言語表現の使い分けが断片的にできる。 日常的な社内文書やビジネス文書の基本的なものがある程度理解できる。 日本のビジネス慣習に対する理解が少しある。
319-200	J4	限られたビジネス場面で日本語による最低限のコミュニケーション能力がある。 日本語の知識・運用能力に問題が多く、意志疎通できることが少ない。 ゆっくり話された簡単なビジネス会話がおおむね理解できる。 対人関係に応じた言語表現の使い分けはできない。 日常的な社内文書やビジネス文書の基本的なものが断片的に理解できる。 日本のビジネス慣習に対する理解が断片的にある。
199-0	J5	日本語によるビジネスコミュニケーション能力はほとんどない。 断片的な日本語の知識しかなく、日本語の運用能力は極めて不十分である。 ゆっくり話された簡単な部分的にしか理解できない。 日常的な社内文書やビジネス文書は理解できない。 日本のビジネス慣習に対する理解はほとんどない。

- ▶ BJTは2017年4月より、
CBT (Computer Based
Testing)方式を導入、大変
受験しやすい環境に！

授業内容

- ▶ ビジネスのさまざまな場面を題材とし、そこでの課題に対して適切なコミュニケーションを行える能力を養う。
- ▶ 内容は主に、面接試験の受け方、電話の応対、プレゼンテーション、インタビューなど。
- ▶ CD教材を使用した聞き取り練習と会話練習の二本立て。

▶ 例えば、電話が鳴り、相手の指名した人が今トイレに行っている時、何と答えますか。

答え：恐れ入りますが、〇〇は只今席を外しております。

➡ 今、忙しいので後で電話をかける場合、何と言いますか。

➡ 答え：後ほど、こちらから折り返しお電話いたします。

➡ できましたか？

➡ 敬語は苦手というのは日本人も同じです。

➡ でも、習うより慣れろです。

➡ 敬語をマスターすれば、どんな仕事ができると思いますか？



客室乗務員



ガイド



会社員



通訳翻訳業



ホテル業など、様々です。



職業の選択肢が広がります。



卒業までに切磋琢磨して、日本語の能力を向上させ、自分の価値を高めましょう！